

SAGA
ARTS
COMMISSION
SAGA
COMMISSION
SAGA
COMMISSION

感性で彩る、
アートと文化の
新しい波。

LiveS Beyond, II

Arts Anytime Anywhere

佐賀県アーツコミッション

2024
第1回

文化講演会 | 8/24 SAT

会場:佐賀県立美術館ホール 時間:13:30~15:35 **入場無料** ※事前申し込み不要
※アートを学ぶ学生他一般の方が対象

佐賀県アーツコミッションは、県内外の様々なアーティスト等文化芸術関係者の活動をさらに発展させ、地域づくりに活かしていくために、様々な(場所・人・モノ)を繋ぎ、新たな文化シーンを県内各地で創出していきます。

13:30開会

13:40 ゲストトーク[ビデオメッセージ]

ジパング展に寄せて、米国で作品制作中の池田 学氏からの近況報告
(於)米国ウィンスコンシン州マディソン

13:55~ 基調講演&対談/「アートにとって価値とは何かII」

①基調講演/演題「令和」のアートムーブの展望について

講師:三瀧 末雄氏 (ミヅマアートギャラリーディレクター)

②対談/三瀧末雄 × O JUN (画家・東京藝術大学名誉教授)

司会:花田伸一 (佐賀大学芸術地域デザイン学部准教授)

特別展/ジパング

会期:8月24日(土)~10月20日(日)

会場:佐賀県立美術館

観覧料/一般1,200円 割引1,000円

佐賀出身の池田学の他、村上隆、会田誠、草間彌生などの作品によって、平成を駆け抜け、令和とその先の未来に続いていく日本の現代アートを紹介します。

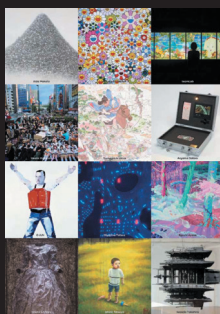
主催/佐賀県立美術館

企画協力/ミヅマアートギャラリー



エノパノク

平成を駆け抜けた
現代アーティストたち
Contemporary artists
who have run through
the Heisei era



佐賀県アーツコミッション

2024
第1回

文化講演会 18/24 SAT

Saga Prefecture Arts Commission 1st Cultural Lecture

基調講演 & 対談 / 「アートにとって価値とは何かII」

三瀨 末雄氏

Mizuma Sueo

ミヅマアートギャラリー
ディレクター
佐賀県アーツコミッション
アドバイザーボード委員



ポートレート:野口博

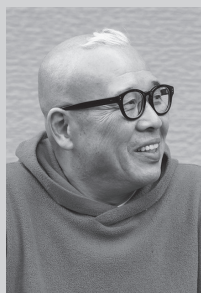
東京生まれ。成城大学文芸学部卒業。1980年代からギャラリー活動を開始、94年ミヅマアートギャラリーを東京に開廊。2000年からその活動の幅を海外に広げ、国際的なアートフェアに積極的に参加。日本、アジアの若手作家を中心にその育成、発掘、紹介をし続けている。また、アジアにおけるコンテンポラリーアートマーケットの更なる発展と拡大のため、2008年に北京にMizuma & One Galleryを、2012年にシンガポールのギルマンバラックスにMizuma Galleryを開廊。2018年にはニューヨークにMizuma&Kipsを開廊した。

毒と批評精神に溢れた作家を世界に紹介するとともに、ジパング展等の展覧会を積極的にキュレーションし、その活動の幅を広げている。著書に『アートにとって価値とは何か』(幻冬舎刊)、『MIZUMA 手の国の鬼才たち』(求龍堂刊)がある。

O JUN氏

O Jun(おうじゅん)

画家・東京藝術大学名誉教授



ポートレート:木暮伸也

1956年東京都生まれ。東京藝術大学大学院美術研究科油画専攻修了。東京藝術大学名誉教授。

人物やもの、風景といった日常のありふれたモチーフや作家の記憶に残った事象を、油彩、鉛筆、クレヨン、顔料、水彩など様々な画材を用い、独自の描きで見慣れぬ世界を作り出す。絵画の制作とともに、ライブ・ドローイングやパフォーマンスも行う。

近年の主な展覧会に2013年「O JUN 描く見」(府中市美術館、東京)、16年「O JUN 展 まんまちゃん、あん」(国際芸術センター青森)、17年「O JUN × 棚田康司展 闊(せめぐ)」(伊丹市立美術館、兵庫)、19年「展「途中の造物」(ミヅマアートギャラリー)、22年「六本木クロッシング2022展: 往来オーライ!」(森美術館、東京)などがある。

司会

花田 伸一氏

Hanada Shin-ichi

佐賀大学芸術地域
デザイン学部准教授



1972年福岡市生。佐賀市在住。北九州市立美術館学芸員、フリーランスを経て2016年より現職。地域でのアートプロジェクトを多く手がける。主な企画『6th北九州ビエンナーレ〜ことのはじまり』『街じゅうアート in 北九州2012 ART FOR SHARE』『ちくごアートファーム計画』『佐賀モバイル・アカデミー・オブ・アート』。企画協力『第5回福岡アジア美術トリエンナーレ2014』『釜山ビエンナーレ2014特別展』他。韓国、タイ、ラオス、カンボジア、ベトナム美術調査。

ビデオメッセージ (於)米国ウィンスコンシン州マディソン



ポートレート:高橋宗正

池田 学氏

Ikeda Manabu

画家

1973年多久市生まれ。佐賀北高校芸術コースを卒業後、98年東京藝術大学美術学部デザイン科卒業。卒業制作にて紙に丸ペンを使用した独自の細密技法を確立。2000年同大学院修士課程を修了。

2011年より文化庁芸術家在外研修員としてカナダ、バンクーバーに滞在。2013年よりアメリカ、ウィスコンシン州マディソンにあるチェゼン美術館の招聘を受け、滞在制作を行う。現在アメリカ在住。

2014年公益信託タカシマヤ文化基金・第25回(平成26年度)タカシマヤ美術賞受賞。

2017年「池田学展 The Pen—凝縮の宇宙」佐賀県立美術館、金沢21世紀美術館、日本橋高島屋を巡回。2023年カナダのオデイン美術館にて海外美術館での初個展「Manabu Ikeda: Flowers From the Wreckage」を開催。2024年クレーブランド現代美術館(オハイオ、アメリカ)に巡回。主な書籍に『池田学 The Pen 誕生・その後増補改訂版』(青幻舎刊)がある。

